

地域別防災訓練 について

茂木 延夫 議員

・質問 当市の防災訓練は消防署訓練広場での大掛かりなものから、地域別の防災訓練に変わって三年目の今年、全地区での訓練が終了した。

そこで、この三年間における成果と課題、地域の自主防災組織の活動等の関係について今後どのように対応しているか。

く予定か。

また、全体の集中型防災訓練も必要と考えるが、その計画について伺いたい。

・答弁(総務部長)

近年の各地での大災害から学んだ教訓を生かすため、市内各地区の防災力向上を目指して行ってきた地域別防災訓練

は、三年間で約三千七百名が参加し、当初の目的であった自主防災組織の組織率は100%になった。

ここから得た成果は、見るだけの防災訓練から自ら体験する訓練に変わり、防災意識や技術が格段に向上する第一歩を踏み出したということである。

一方、課題は自主防災組織の育成の観点から、災害時の初期活動のレベルアップと、平時における防災意識の啓発推進であると考えている。



消防団による放水訓練(川俣)

たい。

全体での防災訓練については、従来実施していたライフラインの復旧、防災ヘリコプターによる救助等大規模な訓練を基本とし、加えて全地区に整備された自主防災組織の活動を組みこんだ訓練を、来年度行いたいと考えている。

その他の質問

・南羽生駅の橋上化について

だけけるよう努めてまいりたい。

その他の質問

・町屋地区の踏切の拡幅について

羽生総合病院の現在地での 建て替えについて

根岸 義男 議員

・質問 羽生総合病院は市に對して、四年ほど前から建て替えを予定している旨の申し出をしてきたようだが、未だに進展がないと聞く。

この四年間どのような動きがあつて現在に至っているのか。

また、今所在する岩瀬地区

に建て替えを行うとすると、どのようなタイムスケジュールとなるのか。

・答弁(企画財政部長)

今から四年前に羽生総合病院から本市に對して建て替えの申し出があつて以来、同病院が区画整理事業地内にあつて、どのように建て替えを進

めていくかについて、市はその調整に取り組んできたところである。

従つて、四年前からの話は現在地での建て替えを前提とするものであり、神戸地区が要望されてからの協議は、約一年前からのものと認識している。

現在同病院は、埼玉医療生活協同組合が行つた地域医療支援病院の申請に對する審査結果の発表を待つて今後の判断を行いたいということなので、本市も同様にその推移を

見守っている状況にある。

現在地での建て替えのためのスケジュールに関して、同病院の位置する北工区は、市街化区域から市街化調整区域に戻すことで関係者から合意を得ている。

そして、都市計画法三十四条八の三の規定を運用して、現在の病棟を中心に既存建築物の敷地の拡張について建て替えができるよう県と協議を進めている。

ゆえに病院側が現在地での建て替えに理解を示していた

